

おおあさひ支部報

第124号

笠間市社会福祉協議会大旭支部
 発行 大旭支部長 大垣 茂
 編集 大旭支部広報委員会
 発行日 令和3年8月31日
 印刷 有限会社大塩企画



旭台地区(8月上旬撮影)

地域とともにある学校を目指して

友部第二小学校 第1回学校運営協議会

6月9日友部二小で、「第1回学校運営協議会」が開催されました。笠間市教育委員会では、学校の運営方針等に地域の意見や願いを反映させていくコミュニティ・スクールを進めています。このコミュニティ・スクールは、校内に「学校運営協議会」を設置し、学校と保護者、地域が知恵を出し合い連帯・協働しながら特色ある学校づくりに努めていきます。

【主な協議内容】

○学校から児童に一人一台配布されたタブレットの使い方、問題点、家庭での約束について

○避難訓練、地震対応など

○分散運動会の内容

○学校内の危険場所と除去

○元氣なあいさつを広めたい

持丸正美校長先生からは、「明日の待たれる豊かな学校づくり」について、委員からは意見や願いなど、熱心な協議が行われました。

(詳細は支部報123号を参照)

【第1回の内容】

1 運営協議会委員(14人)

・学校

・保護者

・通学区域に居住する市民

(協力団体大旭支部 区長会)

2 学校運営の基本方針についての説明

3 学校運営協議会の活動計画についての検討

4 協議 その他



持丸校長先生から委嘱状を受ける委員

もくじ	令和3年度支部代議員会について	2頁
	令和2年度 決算報告 連係プレーでピンチを避けた	3頁
	学校安全ボランティアのご報告とお願い 子ども育成会助成金 あとがき	4頁



役員会議状況

令和3年度 支部代議委員会について

令和3年度の支部代議委員会は、新型コロナウイルス拡大のため、昨年度に引き続き開催を見送りました。代替措置として、4月8日に役員会を開催し、令和2年度事業報告・収支決算報告及び3年度事業計画・収支予算を原案通り決議するとともに、代議員会資料を各支部委員（区長）に送付し、承認を求めました。

なお、令和2年度の収支決算及び令和3年度大旭支部役員は、次表の通りです。コロナ禍のなかでの事業推進となりますが、皆様のご協力・ご指導をお願いいたします。

令和3年度笠間市社協大旭支部 役員名簿

支	役	職	氏 名	
	支 部 長	大垣 茂		
部	副 支 部 長	後藤 政見 高間 香 渡辺 米子		
	会 計	納 米次		
	監 事	小野 武 井川小夜子		
	役	支部委員代表	荻津 定幸 (矢野下藤株)	藤川 重雄 (大沢上 2)
野沢 直一 (大沢下 2)			檜山 隆雄 (八幡台 1)	
永原 勝美 (旭平 1)			青木 清 (旭台団地 4)	
員	部門委員代表	後藤 政見 菊池美智子	高間 香 鈴木 勝義	
		菊池 三男 青木 清	渡辺 米子 伊藤由美子	
吉田 正次 岩田 幸雄				
支部委員 (区長)	荻津 定幸 (矢野下藤株)	米川 薫 (矢野下郷)		
	川井 達朗 (大沢上 1)	藤川 重雄 (大沢上 2)		
	成田高太郎 (大沢上 3)	川野 聖 (大沢下 1)		
	野沢 直一 (大沢下 2)	檜山 隆雄 (八幡台 1)		
	花山 宗一 (八幡台 2)	倉本 祐典 (原団地)		
	渡辺 正孝 (清住町)	菱沼作太郎 (若狭山団地)		
	藤枝 勇 (旭台)	田中 典夫 (旭台団地 1)		
	武川 潤 (旭台団地 2)	中嶋 文夫 (旭台団地 3)		
	青木 清 (旭台団地 4)	永原 勝美 (旭平 1)		
	加藤木よしい (旭平 2)	高橋 濟 (旭平団地)		
	菅谷 祐一 (緑ヶ丘団地)	深谷 雅夫 (旭崎 1)		
	友部 正美 (旭崎 2)	高橋 浩哉 (サンステージ)		
	永井 正男 (矢野下本郷)	工藤 勤 (ビープル旭台)		
	部 門 委 員	総 務	◎後藤 政見 永原 勝美	○菊池美智子 納 米次
高齢・身障		◎高間 香 川井 達朗	○鈴木 勝義 米川 薫	田中 敬一 菱沼作太郎
児童・環境		◎菊池 三男 成田高太郎	○青木 清 花山 宗一	高橋 濟 相澤 博美 藤枝 勇
女 性 部 (にじの会)		◎渡辺 米子 園部 弘子	○伊藤由美子	井川小夜子 大澤わか子
広 報		◎吉田 正次	○岩田 幸雄	寺門 常康 大垣 茂

（部門委員の標記は、◎委員長・○副委員長を示す）

令和2年度 決算報告

自：令和2年4月 1日
至：令和3年3月31日

単位：円

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	予算比	付 記
繰 越 金	712,932	712,932	0	
会 員 会 費 還 元 金	1,000,000	871,500	△ 128,500	社会福祉協議会
福 祉 コ ミ ュ ニ テ イ	50,000	50,000	0	社会福祉協議会
広 報 助 成 金	100,000	87,150	△ 12,850	社会福祉協議会
寄 付 金	5,000	0	△ 5,000	
雑 収 入	5,000	9	△ 4,991	預金利息
合 計	1,872,932	1,721,591	△ 151,341	

支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	予算比	付 記
会 議 費	30,000	5,582	△ 24,418	総会・役員会経費
総 務 費	30,000	30,000	0	役員活動費
通 信 費	15,000	15,000	0	諸事業の連絡助成
消 耗 品 費	10,000	5,758	△ 4,242	事務用品・他
事 業 費	1,000,000	365,038	△ 634,962	
(事業費内訳)				
児 童 育 成 費	150,000	73,279	△ 76,721	子供会助成 7団体：56,500 太陽・旭台・旭台団地 旭崎・旭平・青空・矢野下 育成会(昼食代)：16,779
高 齢 者 ク ラ ブ 助 成	80,000	80,000	0	8団体：各 10,000 円 矢野下寿会・若狭山会・ときわ会・三友会 新生会・ふれあいクラブ・旭台睦会・ひので会
グラウンドゴルフ大会 に じ の 会 活 動 費	40,000 130,000	40,000 6,106	0 △ 123,894	各クラブに助成 8 団体：各 5,000 円 会議費等 総会・研修会は中止
地 区 ふ れ あ い 交 流 助 成	130,000	0	△ 130,000	4 地区コロナ感染防止のため中止 旭台団地・旭平2区・旭台・旭崎1区
在 宅 福 祉 活 動 費	380,000	246,571	△ 133,429	配食サービス【40食/回】：125,132 80歳以上食事会：0 在宅介護者記念品：22,100
ふれあいサロン助成	40,000	40,000	0	
ふれあい交流会費	50,000	0	△ 50,000	友二小三世代交流助成
研 修 費	110,000	0	△ 110,000	
支 部 広 報 発 行 費	190,000	190,000	0	3回/年・他(諸経費)
負 担 金	15,000	17,500	2,500	保険料(児童見守り)
予 備 費	472,932	30,000	△ 442,932	医療従事者応援
合 計	1,872,932	658,878	△ 1,214,054	

備考：新型コロナウイルス感染防止のため、3密にかかわる事業を中止した。

(グラウンドゴルフ大会・友二小ふれあい交流会・支部役員研修会・にじの会研修会・総会・80歳以上食事会・配食サービスの一部)

令和2年度収支残高は、下記のとおりです。

収入合計：1,721,591円

支出合計：1,062,713円

差引残高：1,062,713円 次年度へ繰越する



おべんとう

掛け紙の色塗りは友二小児童の協力です

当支部は新型コロナウイルス感染
防止対策を進めつつ「在宅福祉事
業・一人暮らし高齢者などの配食
事業」を行っています。

6月1日女性部会員から「声かけ
に返事はあるが、お弁当を受け取り
に出てこない方がいて心配」と連絡
がありました。

連絡を受けた女性部はこの事態に
即応し、親族・笠間市社会福祉協
会・民生委員の協力で再度訪問。動
けないで困っていた利用者の方(足
の骨折)を、医療機関につなげるこ
とが出来ました。

渡辺米子女性部長は「困ったとき
はお互いさまを、合言葉に活動して
います。皆さんの連係プレーでピン
チが避けられて、本当に良かった」
と、語られました。



「学校安全ボランティア」についてのご報告とお願い

1 学校安全ボランティア活動に対し、一般社団法人茨城県教育会 樋口浩史会長から感謝状（令和3年2月1日付）が交付されました。

永年にわたる活動が認められたもので、ボランティアの皆様を代表して、大垣茂大旭支部長が受け取って参りました。これもひとえに、ボランティアのみなさまの地域支援活動の賜であります。ご報告申し上げますとともに、改めて感謝申し上げます。

2 令和2年度をもって、次の方が学校安全ボランティアを辞められました。

大沢上2区 飯野邦雄、八幡台2区 兼子甲、竹内藤男
旭崎1区 小野武、小野敬子
旭崎2区 栗山圭之輔、横倉愛子の各氏です。

7人の方には、永年にわたり、地域の子どもの安全確保に多大なるご尽力を頂きました。感謝申し上げますとともに、今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。



見守り、ありがとうございました。

3 学校安全ボランティアを募集しています。

令和3年7月1日現在、友部第二小学校区学校安全ボランティア協力者は46人となっております。しかし、ボランティアの多くの方が高齢者のため、体力の衰え、病氣治療等の理由で、活動を辞められた方が見られ、ボランティア活動に支障が出てくることも想定されます。

ついては、お孫さんが通学している方や、時間的に余裕がある方のボランティア参加をお願いいたします。

参加希望のある方は、笠間市社会福祉協議会 会澤・柿長（☎0296-77-0730）までご連絡をお願いいたします。

子ども会育成会に助成金を交付しました

令和3年5月30日、「旭崎新農村集落センター」において、助成金を交付いたしました。対象子ども会および助成内容は次表の通りです。

従来ならば、「子ども会育成会代表者との懇談会」を開催し、各子ども会の年度計画、運営にあつての課題・問題等を検討するところでありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各子ども会会長さんに個別に来ていただき、お話を伺う形式といたしました。



子ども会のお話を伺いました

令和3年度子ども会育成会助成額

子ども会名	会長名	児童数	助成額 円
大 沢 上 (青 空)	大森 里美	14	6,400
大 沢 下 (太 陽)	川野 聖	11	6,100
旭 台	今成 幸子	32	8,200
旭 台 団 地	武石 亜砂美	17	6,700
旭平・緑が丘・旭平団地	小松崎かおり	27	7,700
旭 崎	佐竹 綾子	21	7,100
矢 野 下	米川 まち子	6	5,600
計		128	47,800

子ども会会長さんの話の中で共通していた点は、コロナ禍のなか、集合形式での行事の開催が困難で、十分な活動が出来なかったことであったようです。

また、子ども会の今後の課題としては、年々、加入児童

数が減少（令和2年度に比較し約25%減少）し、子ども会を維持することが困難となっているということで、ある子ども会では、令和3年度をもって子ども会の廃止を検討しているとの説明もありました。

これらの問題について、改めて関係者の皆様と対応等について真剣に取り組む必要があると感じられました。

あとがき

おおあさひ支部報は、昭和58年6月30日に創刊号を発行以来、38年目を迎えております。

これまでの紙面は「モノクロ印刷」でしたが、広報委員会でも検討し、支部役員会の承認を得て「カラー印刷」に変更しました。

より良い紙面づくりをめざして、さらに充実を図りたいと考えております。

会員の皆様には、今後ともご協力をいただけますよう、よろしく願います。

大旭支部広報委員会